

令和4年鋸南町教育委員会第3回定例会議事録

1. 日 時 令和4年3月17日（木）午後2時00分～午後3時55分
2. 場 所 鋸南町立中央公民館 2階会議室
3. 出席委員 教育長 富永 安男 教育長職務代理者 山野 正人
委 員 中山 郁夫 委 員 篠原 恭恵
4. 出席職員 教育課長 福原 規生 主任指導主事 工藤 司
教育総務室長 笹生 いつ子 生涯学習室長 笹生 浩樹
5. 開 会 富永教育長が開会を宣言
6. 議事録署名人の指名 富永教育長が篠原委員を指名
7. 議事録の承認 令和4年2月17日開催の第2回定例会議事録について承認
8. 会議の傍聴 傍聴者なし

9. 教育長の報告

教育長の報告は3点お話をしたいと思います。

過日の校長会の資料からお話したいと思います。

1点目は、地震津波についてであります。昨日の夜11時過ぎに地震がありました。私は、大小は別としても、地震津波は必ず来る。児童生徒の交通事故と自然災害への対応をしっかり行わなければならないと常々思っております。釜石の奇跡というような事がありますが、何故これができたかという、小学校の時代から何回となく避難訓練・津波訓練をしていたということです。ですから、当日は子供が真っ先に、より高く、より遠くに逃げられたことで、全員が無事だったと、釜石の例だけではありませんが、子どもがしっかり避難できることが大事だと、そのためには、鋸南の小中学校においても常日頃のシミュレーション教育を行う事が大事だと思っておりますので、校長会の席上でお話をさせていただいております。

2点目ですが、人事のお話です。今年度も人事の時期となりました。資料の中で、人事に左遷はないという記事をお読みください。要は、行きたい学校へ行けるという事が人事の全てではなく、場合によっては、あまり気の進まない場合もあります。しかし、その学校で必要とされた教員として赴任する訳ですから、その期待に応えなければならない。赴任先で頑張ってもらいたいと思います。

3つ目ですが、資料はNHK学園の校長先生がお書きになったもので、私はとても感銘を受けたものですから、皆さんに紹介します。

記事には、教師は児童生徒の伴走者であるという事から始まり、最後には、教師は

壁である。壁でありたい。だから自分も弛まず学び続ける。そこには、教師の役割にはとどまらない先生の覚悟が語られている。とありました。その部分を読み、私も2校6年間の校長を経験しておりますが、振り返ってみると、薄い壁だったり、場合によっては朽ちかけた壁だったかもしれないと反省の念を持っておりますし、自省もしております。これからの管理職は、子どもに対して、地域に対しての壁になっていただければと思います。以上で教育長の報告を終わります。

10. 議 事

(1) 議決事項

①議案第1号 教育委員会の点検・評価について

- ・ 笹生教育総務室長から、別紙説明資料により説明がなされた。

(質疑)

- ・ 篠原委員から「教職員の業務適正化も観点からの業務効率化と質の向上という部分で、小学校では、SSSと連携し、子どもと向き合う時間を確保したが、まだ改善の余地がある。とはどのような事か。」との質疑に対し、
工藤主任指導主事から「SSSは、スクールサポートスタッフの略で、印刷物などを教諭に代わって行い、配付準備をするなどを仕事としている。小学校では、まだ改善の余地があると自己評価をしている。」との答弁がなされた。
- ・ 山野委員から「安全な避難経路の確保で、昨年度の避難場所が使用できなくなった。とあるが、具体的にはどうか。」との質疑に対し、
福原教育課長から「避難場所の所有者が変わったが、児童の避難には問題はないと思われる。」との答弁がなされた。
- ・ 中山委員から「スポーツイベントの縮小・中止が続く中、社会教育関係団体から何か要望はあったか。」との質疑に対し
福原教育課長から「鋸南町では、基本的には、できるだけ活動は続けたいと考えていた。スポーツ団体から施設開放の要望もあったので、蔓延防止重点措置期間でも町内の感染状況を勘案し、対応してきたつもりである。」との答弁があった。
- ・ 山野委員から「就学前教育の中で、障害のある全ての幼児を受け入れることができなかつた。とあるが入所を受け入れられなかつたのか。」との質疑に対し、
福原教育課長から「医療的ケアが必要な幼児の受け入れ体制がなく、別の施設に通所している事実はある。法的には受け入れ体制を整えなければならない事もあるので、できるかぎり体制整備をしていきたい。」との答弁がなされた。

(意見)

- ・ 篠原委員から、幼稚園では担任の行事準備などで負担が大きい。という自己評価があったが、そういう部分で地域の力を借りる工夫も必要ではないか。との意見があった。
- ・ 中山委員から、教育の現場では、この2年間位は新型コロナ対策に大変苦労があったと思う。コロナ禍でも工夫して教育活動を続けてもらい感謝している。との意見があった。
- ・ 山野委員から、最近の事件報道などを考えると、改めて道徳教育は大切だと感じ

ている。この評価・点検では、道徳教育の充実は評価が高く、良い事だと思うので、継続願いたい。との意見があった。

- ・山野委員から、社会教育部門では新型コロナの影響を受ける中、施設の開放等できる限り続けてもらい感謝する。との意見があった。
- ・中山委員から、この評価項目が働き方改革につながるようにしてもらいたいとの意見があった。

以上で質疑を終了し、議案第1号は原案どおり可決された。

②議案第2号 鋸南町教育の指針の策定について

- ・福原教育課長から、別紙説明資料により説明がなされた。

(質疑)

- ・山野委員から「基本方針の中で、「鋸南町特有のポテンシャルを活かした」という文言があるが、具体的にはどのような事か。」との質疑に対し、福原教育課長から「幼・小・中の連携など、小さい自治体の特性を活かした素早い対応等というように理解して欲しい。」との答弁がなされた。
- ・中山委員から「基本方針のSDGsの理念に配慮し、施策運営に努める必要があるという施策は、総合教育の中で必要としているという事なのか。」との質疑に対し、富永教育長から「鋸南町総合計画、まちひとしごと創生総合戦略で謳われています。これを方針の中に取り入れた。」との答弁がなされた。

以上で質疑を終了し、議案第2号は原案どおり可決された。

③議案第3号 鋸南町立幼稚園一時預かり保育実施要綱の一部改正について

- ・笹生教育総務室長から、別紙説明資料により説明がなされた。

質疑は特になく、議案第3号は原案どおり可決された。

④議案第4号 鋸南町文化財審議会委員の委嘱について

- ・笹生生涯学習室長から、別紙説明資料により説明がなされた。

質疑は特になく、議案第4号は原案どおり可決された。

⑤議案第5号 鋸南町スポーツ推進委員の委嘱について

- ・笹生生涯学習室長から、別紙説明資料により説明がなされた。

質疑は特になく、議案第5号は原案どおり可決された。

⑥協議第1号 鋸南町学童保育所の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

- ・笹生教育総務室長から、別紙説明資料により説明がなされた。

質疑は特になく、協議第1号は原案どおり承認された。

11. 報告事項

(1) 行事の後援の承認について

- ・ 笹生教育総務室長から、行事の後援承認は前回の定例会以降に2件あった旨、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

(2) 各担当からの報告について

- ① 工藤主任指導主事から、各学校の様子について、学校行事についての報告・説明がなされた。
- ② 笹生生涯学習室長から、鋸山日本遺産候補地域活用推進協議会事業の版画体験について、新型コロナ蔓延防止等重点措置の解除に伴う社会教育施設の対応について報告・説明がなされた。
- ③ 福原教育課長から、生徒の9か年皆勤者の報告、鋸南町議会3月定例会での教育課関係一般質問について報告・説明がなされた。

12. その他

- ① 笹生教育総務室長から、今後の行事日程について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。
- ② 富永教育長から、6月定例会日程について協議があり、16日木曜日中央公民館で開催することに決定した。

13. 閉 会 富永教育長が閉会を宣言

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和4年3月30日

鋸南町教育委員会

教 育 長 富 永 安 男

教育委員 篠 原 恭 恵

議事録作成

事 務 局 笹 生 いつ子